

国立大学法人東京外国語大学次世代育成支援行動計画

教職員が仕事と子育てを両立させることができ、働きやすい環境を作り全ての教職員がその能力を十分に発揮できるようにするため、次のように行動計画を策定する。

1. 計画期間 平成28年1月12日から平成30年3月31日までの3年間

2. 計画内容

目標1 仕事と子育ての両立を可能とする職場環境の充実を図る。

対策 平成27年度 ●既存の休暇制度について、教職員にわかりやすく周知する。

●学内託児制度の検討を行う。(次年度以降も継続する)

平成28年度 ●既存の休暇制度の有効な情報提供の在り方を検討し改善を図る。
(次年度以降も継続する)。

目標2 所定外労働を削減するための措置を実施する。

対策 平成27年度 ●定時に退庁を促すためのアナウンスを行い、所定外労働を削減する。(次年度以降も継続する)

●業務の効率化、人員の適正配置を図る。(次年度以降も継続する)

目標3 年次有給休暇を取得しやすい環境作りの推進を図る。

対策 平成27年度 ●ゴールデンウィーク、夏季休暇、年末年始などと組み合わせた休暇の取得を促進する。(次年度以降も継続する)

●子供の学校行事や家族の記念日等における休暇を取得しやすい環境作りに努め、取得の促進を図る。(次年度以降も継続する)

目標4 出産・育児休業からの復帰支援の充実を図る。

対策 平成27年度 ●育児短時間勤務等の制度を利用しやすい環境を作るため、管理監督者に制度の説明を行う。(次年度以降も継続する)